News Letter News Letter News Letter News Letter News Letter News Letter News Letter

共同実験室ニュースNo.35

SEP 20, 2005

ＬＣ/ＭＳシステム説明会

１．ＨＰＬＣ－Ｃｈｉｐ／ＭＳシステムの設置について

概算要求にてＬＣ／ＭＳシステムがタンパク研究機器室に導入されました
下記の日程にて説明会及び機器見学を行います

日時　　平成１７年９月２９日(木)１５：００～１６：３０ (説明会)
場所　　管理棟　３階　中会議室
説明　　Agilent Technologies　((株)横河アナリティカルシステムズ)

※機器見学　説明会終了後　16：30～17：30
基礎医学研究棟 1階 共同実験室 タンパク研究機器室にて行います

機器構成

Agilent 製ナノフローＬＣ／ＭＳシステム
１．イオントラップＭＳシステム　　２．ナノフローＬＣシステム
３．解析ソフトシステム

機能・特徴

１．HPLCのナノカラムおよびエレクトロンスプレーイオンソースのイオン噴出し口であるプローブを、クレジットカード程度の大きさにマイクロchip化する事を可能にした装置

２．従来のNanoLC-MS/MSおいて煩雑な操作であった分離カラムやイオン化部のスプレー調整が大幅に簡便になり、プロテオミクスに求められる高感度、高分離、迅速な解析が可能

機器担当　共同実験室　清水憲二分室長
共同実験室　田丸技術職員
分子遺伝学　大内田助教授

※準備の都合上、参加希望の方は、共同実験室　岡山(7472)まで、予約をお願いします
又、詳細につきましては、担当　田丸 ktamaru@md.okayama-u.ac.jpまで

２．共同実験室機器利用に関する論文の提出について

共同実験室の機器を利用されて御研究をまとめられて各々の成果を発表される　場合、方法の項に使用機器名、共同実験室(Central Research Laboratory, Okayama　University Medical School)を明記下さるようお願いいたします．また、発表論文二部を該当する分室へ提出して下さい．
　このような目に見える実績の集積が機器の更新、最先端機器の申請購入、共同 実験室の将来の発展性にも大きく関わりあって来ると思われます。御協力よろしくお願いします。

ご意見、ご要望は、岡本まで（内線7472）
Mail kyo2@md.okayama-u.ac.jp

News Letter News Letter News Letter News Letter News Letter News Letter News Letter